



栄研

News Release

平成 27 年 1 月 27 日

各 位

会社名 栄研化学株式会社
代表者名 代表執行役社長 和田守史
コード番号 4549 東証1部

LAMP 法を利用した次世代の小型全自動遺伝子検査装置 および多項目検査チップを開発

栄研化学株式会社（本社：東京都台東区）は、当社独自の遺伝子増幅技術（LAMP 法）を利用した次世代の小型全自動遺伝子検査装置および多項目検査チップを開発いたしました。今後、早期の製品化に向け取り組んでいきます。

近年、患者の診察時での迅速、精確な診断（Near the patient）が強く要望されております。当社は、そのような医療ニーズに対応するため、病院内の検査室や処置室等に設置可能な小型で高度な検査技術を必要としない全自動遺伝子検査装置および多項目遺伝子検査チップの開発を進めてまいりました。

本装置は、検体前処理（核酸抽出・精製）から増幅・検出までを全自動で行います。従来の高純度な核酸抽出・精製を行う装置と増幅・検出装置で合わせて 2 時間以上を要していた操作時間を、LAMP 法の特徴を活かした独自プロトコルの開発により、30 分以内に短縮することに成功しました。

また、本検査チップは、LAMP 法に必要な増幅試薬（プライマー、酵素等）を含む複数の反応ウェルから成ります。本装置に設置して使用することで、内部標準を含めて多項目の遺伝子の同時検出を可能とします。また、閉鎖構造にすることにより、コンタミネーション*に極めて強い特徴を有しています。さらにプラスチック製で簡易な構造を追求することにより、量産可能な低価格化を実現しました。

今後、早期の実用化を目指し、複数の呼吸器感染症原因微生物の同時検出を目的とした臨床性能試験を実施いたします。また、各種感染症検査チップ、コンパニオン診断用検査チップ、各種がん関連の検査チップなどの開発を進めてまいります。

当社は、国内、海外の遺伝子検査市場に幅広く本遺伝子検査装置および多項目検査チップを普及させ、疾患の迅速診断、予防、治療に貢献してまいります。

なお、本件に伴う今期の業績への影響はありません。

以上

※コンタミネーション

遺伝子増幅反応により増幅された核酸が反応容器等から漏れ、他の反応容器など付着し、汚染する現象で、偽陽性を引き起こす原因となります。

本件に関するお問い合わせ先

栄研化学株式会社 広報部

TEL: 03(5846)3379 、 e-mail: koho@eiken.co.jp

ホームページ <http://www.eiken.co.jp>

栄研ゲノムサイト <http://www.loopamp.eiken.co.jp/>